令和７年度　第１回　弥富市小学校再編委員会　議事録

令和７年５月２７日（火）１８：００　弥富市庁舎４階：防災会議室

１．開会

２．教育長あいさつ

（教育長）

３．自己紹介

（省略）

４．小学校再編委員会について

（事務局）

（１）弥富市小学校再編委員会設置要綱について

（２）弥富市小学校再編検討部会設置要領の改正について

・変更内容

地域学校協働部会の名称変更について説明。昨年まではPTA部会だったが、PTAは本来学校とは別の任意団体で、学校を支えてもらっている団体だが、学校はたくさんの方に支えてもらっているので、地域協働部会に名称を変更し、内容はPTAの組織運営に関すること、学校評議員会に関すること、そして地域学校協働活動、こういったことをよつば小学校で起こしていき、児童の見守り体制や、校内の見守り体制といった様々な学校支援活動を起こしていけたらと考え、まずは名称を変更して行っていきたい。

・小学校再編にかかる検討組織体系図について

→　全会一致で了承

1. 委員長の選出

（委員）

・委員長を教育委員会が必要と認めた者　伊藤　将之　様を推薦する。

→　拍手多数

（委員長）

・副委員長の任命→教育長職務代理者　阿部　康治　様にお願いしたい。

５．委員長あいさつ

（委員長）

・建設的な意見で運営していきたい。

６．これまでの小学校再編整備計画の流れ

（事務局）

・これまでの小学校再編整備計画の流れについて説明

７．協議事項

（事務局）

（１）学校運営部会

・校歌制定について説明

（２）教育計画部会

・令和７年度以降の交流計画について説明

（３）施設資料部会

・工事計画の概要について説明

（４）スクールバス部会

・開校時における｢児童クラブの利用｣についての意向調査について説明

・第１回通学路スクールバス部会の開催について説明

（５）地域学校協働部会

・ＰＴＡ再編スケジュールについて説明

（６）その他

・小学校再編に向けた進行計画について説明

・小学校再編に向けたワークショップの開催について説明

８．報告事項

（事務局）

（１）跡地利活用について

・跡地利活用について説明

（２）その他

９．意見交換

【質問】

・交流に関して例えば運動を通じてコミュニケーションをとっていく、そうすれば中学校へ行ったときスムーズにいく。先日、運動会へ行ったが、リレー競技がなくなっていた。盛り上がりに欠けた。交流の一環で４校が合同で運動会を実施して、例えば学校対抗のリレーを実施すれば、盛り上がるし交流も深まるのではないか。

【回答】

・ご意見を参考にして、知恵を出し合って進めていきたい。全校でできたらいいが、バスの関係で基本的に市有バス２台なので、足りないときはタクシーも利用することになるが、難しいのは、やはり移動手段が課題。今のところ各学年で交流ができないかと考えている。

【質問】

・昨年はトイレの数が足りないのではないかという意見が多くあったが改善はされたのか。

【回答】

・１階を増やした。

【質問】

・児童クラブに行く子が増えると保護者が迎えに行くことになるが、その場合バスに乗る子が減ることにより帰りのバスが運行しなくなることはないか。

【回答】

・必ずバス停の候補地までは送り届けるが、経路が行きと変わる可能性はあるが、送らないことはない。他の自治体では、すでにスクールバスを導入していて、帰りの経路が40パターンを超えるような自治体もある。本当に下校時のルートを作成するのが難しく頭を悩まされている。意向調査が早めにわかれば、下校ルートを余裕をもって作成できるので、ご協力をお願いしたい。

【質問】

・1㎞ぐらい歩いている子供もいるが、バスになると体力がなくなるのではないか。対策は考えているか。

【回答】

・これから地域部活動へ移行していく令和９年の秋からは、土日の部活動がなくなる。体育の時間や校長の考えで体力作りとか工夫がされていくと思うが、家庭・地域・学校が連携していかなければいけない。協力をお願いしたい。

【質問】

・新しい委員が多い。我々の役割は、どこまで何を協議するのか示してもらいたい。学校運営部会でいろいろな項目がある中で校歌も大事だが、もっと大事なことがあるのではないか。校歌に関して識見を有する、それなりの方が入ってもらえればいいが、校歌なので長年受け継がれていくものなので、まとめ方にスキルがいると感じる、音楽的なスキルのある方にサポートしてもらえるのか。

【回答】

・学校運営部会で一番大事なことは、校訓や教育目標だと思う。校歌についてはたくさんの意見を取り入れて作りたいので、今から始めた。

【質問】

・工事の進捗を子供たちに自分の学校の進捗がわかるような伝え方。わくわく感を共有できるような工夫をしてほし。

【回答】

・今後安全に気をつけながら見学できる日を設けていきたい。

【質問】

・バス停候補地はもう確定なのか。徒歩圏内の方が不安に思っている保護者もいる。徒歩通学のエリアの方の安全をどう確保していくのか。

【回答】

・1.5kmの理由は、市内の他の学校の学区が1.5kmに収まっていて、子どもたちも歩いているので、1.5kmを目安とした。また、他課と連携してグリーンベルトやガードレールが必要な箇所の意見をもらいながら、可能な範囲の中で安全面を第一に考えている。

【質問】

・1.5kmの際のところの子どもは

【回答】

・際のところのバス停は1.5kmの中には設置しないが、道のりや安全面を考え、保護者の方と相談しながら、徒歩通学の圏内の外のバス停を利用してもらう等、個別に相談していきたい。

【意見】

・通学の安全・安心に関しては、市や教育委員会だけではできない。学校・地域・市の三者が協力しあうことが大事。

【意見】

・この４月に十四山中学校が弥富中学校へ統合されたが、友人関係、特に部活などで摩擦というか融和に時間がかかる、夏の大会までに融和が厳しいのではないかという状況が散見されている。理由は色々あるが、人数の関係、指導の違った者同士が行うため、チームプレーの競技に影響が出ている。もう一つは、時間が少ないので、部活動で交流ができない。子どもたちも苦労している。時間と手間をかけて交流計画は行ってもらいたい。

【意見】

・この再編は、２０年・３０年後も見据えての再編か。市全体の学区の再編とか市街化区域に近い地域なので、今後まちづくり計画の中で住民が増える施策とか考えていくのかどうか、教育委員会として市に働きかけていくのか。予想を立ててもらいたい。

【意見】

・設置場所について反対意見もあったことを踏まえて、ともすれば住民感情が対立したままでしこりがないよう、再編を進めてもらいたい。